

## 第9回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	4	本吉津谷IC～大谷海岸IC	三陸沿岸道路は平成31年2月16日に歌津IC～小泉海岸IC間と、本吉津谷IC～大谷海岸IC間が開通しました。
問2	3	15	県内にある道の駅は①七ヶ宿②津山③三本木④路田里はなやま⑤大谷海岸⑥おおさと⑦米山⑧あ・ら・伊達な道の駅⑨林林館⑩上品の郷⑪みなみかた⑫村田⑬三滝堂⑭かくだ⑮おおさきです。
問3	1	おくずかけ	おくずかけは、数種類の野菜や、豆腐、油揚げ、豆麩などをだし汁で煮込み、白石温麺を加えてとろみをつけた、具だくさんの汁物です。使う材料と作り方がよく似た、遠田地方の「スッポコ」、桃生地方の「のっぺい汁」などもあります。
問4	2	若宮丸	若宮丸の乗組員のうち、帰国を希望した4人がロシアのナジェージダ号で大西洋を横断し、文化元年(1804年)に長崎に帰り、世界一周しました。
問5	3	弁天	鬼首間歌泉には、約10分間隔で15m程噴出する「弁天」と、20～30分間隔で2～3m噴出する「雲竜」があります。噴騰のメカニズムは、「弁天」のケースは地下にある空洞に地下水が溜まり、これに火山の熱源により過熱して噴騰すると考えられています。
問6	2	茂福久	黒毛和牛のブランド牛として知られる仙台牛は、平成19年に肉の霜降り度合いで日本一になった種牛「茂洋」が名声を担ってきました。「茂福久」号は、平成30年5月に脂肪交雜(霜降り)の値で日本一となり、宮城県の基幹種雄牛に選定されました。
問7	4	あなご	「南三陸キラキラ丼」に続く贅沢な新メニュー。町内7店舗で10月～2月限定で召し上がれます。たこ飯、はらこ飯、あなご飯が1つになった丼です。
問8	2	台湾・中国・タイ・韓国	台湾との定期線の増加や、仙台を拠点に東北を周遊する旅行者が増えたことにより、宮城県の外国人延べ宿泊者数は全国でもトップクラスです。国別では、台湾15万人、中国5万人、タイ2万人、韓国1万人となっています。
問9	2	上品山茅場	ふるさと文化財の森は、県内では上品山茅場、志波彦神社監竈神社境内林、平成30年3月に石巻北上茅場が設定されました。
問10	4	高山	七ヶ浜町の高山避暑地は、明治時代に仙台在住のアメリカ人医師が病気の妻の療養地として見出し、アメリカ人宣教師らによって「避暑地」として開発されました。
問11	2	涌谷町	涌谷町では、「仙台小ねぎ」というブランド名で小ねぎを生産しており、主に県内市場や京浜市場などに出荷しています。一元集出荷体制により出荷規格等格付けを統一することで、ブレのない品質での消費者提供を実現しています。
問12	3	千葉卓三郎	千葉卓三郎は、1852年旧栗原郡刈敷村(現志波姫)に生まれました。仙台藩士として戊辰戦争に出征、その後医学など様々なことを学び、旧神奈川県五日市町(現東京都あきる野市)の小学校の二代目校長となり、地元の深沢権八らと「日本帝国憲法」を起草しました。昭和43年に深沢家の土蔵からその草案が発見され「五日市憲法」と名付けられました。起草地のあきる野市、出生地の栗原市志波姫町、墓所である仙台市資福寺に記念碑が建立されています。
問13	3	潟沼	潟沼では、スタンドアップパドルボード(SUP)はハワイ発祥の水上アクティビティで、サーフボードよりも少し大きめの板の上に立ち、パドルを漕ぎながら波乗りしたり海の上を散歩したり、女性に人気のマリンスポーツです。家族でも、一人でも楽しむことができ、豊かな鳴子の自然を身近に楽しむことができます。
問14	4	うなぎ	東北一の大河川、北上川。かつては大雨が降るたびに暴れ川になっていた北上川の流れの中で育った天然のうなぎは身が厚く、その味わいも絶品です。天然うなぎは、北上川堤防沿いの2軒のうなぎ屋で提供しています。

問15	2	①-B ②-A ③-D ④-C	しんとろの湯は大崎市中山平温泉にある共同浴場、かつぱのゆは河童伝説で有名な色麻町にある温泉で井戸を掘っている時に偶然見つけた温泉です。神の湯は蔵王町遠刈田温泉にある共同浴場で、共同浴場前では朝市等も開かれます。駒の湯は岩手・宮城内陸地震で倒壊した栗駒山麓の温泉で、2015年に日帰り温泉として復活しています。
問16	4	石の間	大崎八幡宮は入母屋造りの本殿と拝殿を「石の間」で繋いだ桃山様式の最古の権現造りです。床が石で造られた石の間は、天井が華麗な花の絵で飾られています。
問17	4	花山ルビィ	花山地区では1984年から地域づくりの一環として生活改善クラブの会員を中心に栽培され、最盛期には1000本を超えていたとされます。現在は2戸の農家で栽培・加工されています。花山地域で育った「ふさすぐり」の果実を赤く小さな宝石に見立てて名付けられました。
問18	1	煙雲館庭園	煙雲館庭園(気仙沼市)が名勝に指定されたことで、県内の名勝は7件となります(「史跡及び名勝」を含む)。また、庭園としては、旧有備館および庭園(大崎市)、齋藤氏庭園(石巻市)に続き3件目の指定となります。
問19	4	加藤さん	加藤さんは登米市迫町に生まれ、第一次世界大戦の際はパリへ渡り、傷病兵たちを看護しました。日中戦争の際は、病院船に乗り、日本と中国を十往復し、多くの尊い命を救いました。日本赤十字社を退職してからは、ふるさとの宮城県佐沼高等学校の養護教員として働き、親のように生徒を大切に思い、高校生の心身の健康を支えました。
問20	1	イーレ	地元の新鮮な野菜を集めた農産物直売所と、東北の逸品を販売するセレクトマーケットなどを展開。カカオをコンセプトにしたレストランや、家族で楽しめるワークショップなどの体験も楽しめる食と体験の観光交流施設となっています。
問21	1	元禄潜穴	隧道(トンネル)の藩直営改修工事の際、人夫賃が支払い出来なくなり、工事終了後潜穴の中程に人夫達を集め慰労の祝宴をしました。その時隧道入口から水を流し、ほろ酔い加減の人夫、宴の席にいた少女おまんは全員流されたという話が残っています。
問22	4	乙姫	気仙沼大島大橋に関連してできたトンネルは5基あり、要望書やアンケートにより、本土側にある2基の名称が「浦島1号、2号」、この浦島と対比させて大島側を「乙姫1号、2号、3号」と決めました。この県道大島波板線を気仙沼大島竜宮海道として観光誘客をアピールしています。
問23	3	実方中将の墓	国指定名勝「おくのほそ道の風景地」は、2013年から2015年の間に順次指定され、現在は「武隈の松」(岩沼市)、「つじが岡及び天神の御社」「木の下及び薬師堂」(仙台市)、「壺碑」「輿井」「末の松山」(多賀城市)、「籬が島」(塩竈市)があります。「実方中将の墓」はおくのほそ道によると、雨の中曲がる道を間違えて、遠くから見るのみで訪れなかったとされています。
問24	3	志津川湾	志津川湾は暖流と寒流の影響をバランス良く受ける海域で、同じ場所に生息するのが珍しいアラメやマコブなど200種以上の海藻が確認されている。また国の天然記念物コクガンの越冬地にもなっている事が評価されました。海藻藻場での登録は、日本で初めてです。
問25	4	ちぢみほうれんそう	県では機能性関与成分ルテインを含んだ機能性表示ホウレンソウの商品開発に取り組んできました。「野菜でルテイン ちぢみほうれんそう」(届出者:有限会社三菜寿(さなす)(登米市))が、食品の健康効果を表示できる「機能性表示食品注」として、1月16日消費者庁に受理され、販売が開始されることとなりました。生鮮食品の登録品目は少なく、生鮮ホウレンソウは全国初となります。
問26	1	染付	切込焼は1844年から1860年頃が全盛とされる宮崎地区製造の磁器で、染付が主で、白磁、瑠璃、鉄砂、三彩などがあります。
問27	2	細倉鉱山	「近代化産業遺産群」は平成19年に全国で33のストーリーを持つ約450か所が認定されており、宮城県では唯一「細倉鉱山」が、「有数の金属供給源として近代化に貢献した」と認定されました。
問28	2	ガン	ガンは、宮城県が日本国内でも最多の飛来地とされ、ラムサール条約で指定されている伊豆沼付近で多く見ることができます。昭和40年7月に県鳥に指定されています。

問29	1	ザワ漁	南三陸町歌津地区の伊里前川では春先に「ザワ漁」という伝統的な漁法でシロウオを捕獲します。ザワ漁は「ザワ」と呼ばれるV字に石組みを川幅いっぱい設置し、遡上するシロウオを仕掛けた籠に追い込む歌津だけに伝わる漁法です。2019年5月19日には恒例となった「南三陸ハマレ歌津」で「しろうおまつり」が開催されました。ちなみにスバリ(簀張)漁は松島湾周辺で行われています。
問30	2	萬蔵稻荷神社(まんぞういなりじんじや)	「萬蔵稻荷神社」は創建者である金剛院祐観(別名萬蔵さん)の即身仏への信仰が今なお残っています。即身仏そのものは現存しませんが、100基余りのまっ赤な鳥居がどこまでも続く参道が幻想的です。
問31	2	村田町	旧田山家住宅は江戸時代から残る武家屋敷で、主屋は木造平屋建て、屋根は寄棟造りの茅葺きで、現在は鉄板で覆われています。蔵の町村田町の中心部にあり、周辺散策や移住を考えている方の宿泊に最適です。
問32	3	かわべい	いしのまき元気いちばに隣接した場所にオープンした石巻の観光拠点です。誰でも自由にくつろげるサロンスペースのほか、ホールやキッチンなどがあり、市民や観光客が気軽に交流できる施設となっています。
問33	4	長沼ダム	長沼ダムは自然湖でもある長沼の堤防をかさ上げた多目的ダムです。漕艇競技コースが整備されている珍しいダムで、構造は軟弱地盤上に築造されました。
問34	4	丸森町	丸森町は、ザンビアとは2011年よりJICA(日本国際協力事業団)による農業振興関連の研修生を受け入れて以降、交流が続いています。白石市と柴田町は、仙台大学との連携によりベラルーシ新体操の事前合宿誘致活動を実施。蔵王町は、第2次大戦後、パラオからの入植者を受け入れたことによる地名(北原尾)が存在するなど縁があり、交流を深めています。登米市は、長沼ポート場においてポーランドボート選手団の事前合宿を支援します。
問35	3	モッコ	「しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」をキャッチフレーズに、地元の文化やメッセージを「巨大人形モッコ」に託して、伝統芸能や音楽、ダンスなどの「東北文化」が披露されます。モッコは「おだつもっこ」から命名されました。
問36	—	昭和万葉(の森)	大衡村の昭和万葉の森は、昭和天皇在位60周年を記念し万葉集で詠まれている植物を中心に520種類の植物を見ることのできる森林公園です。
問37	—	もういっこ	にこにこベリーは宮城県のオリジナル品種「もういっこ」と栃木県の代表品種「とちおとめ」のかけあわせです。明るい赤い果実、カットしても美しい赤い果肉、甘みと酸味のバランスが良い食味が特徴です。
問38	—	ゆとりぬま	加美町にある「魚取沼」(ゆとりぬま)のテツギヨは、尾びれが長いフナの仲間です。1933年に天然記念物に指定されました。
問39	—	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(県内の地域)</p> <p>亶理</p> <p>角田</p> <p>白石</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(入植地)</p> <p>札幌</p> <p>室蘭</p> <p>伊達</p> </div> </div>	亶理の伊達邦成と家臣や家族約3,000人は現在の伊達市周辺で開拓に従事しました。角田の石川邦光は家臣らで室蘭に入植し、白石の片倉邦憲は札幌と幌別(登別)に開拓移住しました。
問40	—	小牛田	小牛田駅は、県内で唯一JR東北本線と陸羽東線、石巻線の3線が重なる駅です。
問41	—	33	松島五大堂は平成18年8月18~20日に御開帳がありました。次回は2039年です。
問42	—	田東山	山頂付近まで車で行くことができます。ツツジの見頃は5月中旬です。
問43	—	どたばた	美里町にあります。ハーブが漂う庭園とログハウスが調和する「でんえん土田畑むら」リーズナブルに自炊宿泊もできます。
問44	—	ひがしもの	塩釜市水産振興協議会では、「鮮度」「色つや」「脂のり」「うまみ」などに優れたメバチマグロを「三陸塩竈ひがしもの」というブランドで売り出しています。三陸塩竈ひがしものは、塩竈市内の飲食店などで食べることができます。

問45	—	4→1→2→3	奥道中歌には「国分の町よりこへ七北田よ富谷茶飲んで味は吉岡」と詠まれています。富谷には当時の面影が偲ばれる「しんまち地区」には本陣跡の建物など立ち並んでいます。
問46	—	両足(山)	伊達綱村は元禄10年(1697)に黄檗(おうばく)宗両足山大年寺を創建し、伊達家の菩提寺としました。
問47	—	中浜	東日本大震災の大津波から90名が屋上に避難し、一夜を過ごした小学校。県南地域に残る唯一の震災遺構です。
問48	—	かわまちてらす	かわまちてらす閉上は、地元事業者と応援者によってまちづくり会社を設立し、閉上の商業の再建を果たす。飲食、物販、水産加工品販売など27店舗でスタート。生まれ変わった閉上のまちを照らし川辺の憩いのテラスとなるようとの願いから名付けられました。
問49	—	栗原市	県内最大の面積を持ち、2005年に10町村が合併して栗原市が誕生しました。新幹線や高速道路の他、国道4号で南北、国道398号が東西に走り、栗原全体が交通の要衝となっている。新幹線は、くりこま高原駅、インターチェンジは築館、金成若柳IC、パーキングは志波姫、金成。警察署は築館、若柳。
問50	—		「みさとまちこちゃん」は美里町の公認キャラクターです。五穀豊穰を司る大地に神様が美里町の誕生を祝い、生み育んだ豊作成就の申し子です。なお、美里町は旧小牛田町と旧南郷町が平成18年に合併して誕生した町です。